

令和2年もよろしくお祈りします

■3学期は「Unlimited」(限界突破)

3学期のテーマは「Unlimited (=限界突破)」としました。Unlimitedの本来の訳は、「限らない(形)」「無制限(名)」ですが、意識で「限界突破」としました。

箱根駅伝のランナーを見て、卓球のオリンピック代表を決めた試合(平野VS石川)を見て、勝負ではなく、決してあきらめない姿勢に感動しました。

3学期の登校日は51日(6年生は49日)。時間も限られるしできることも限られます。しかし、子どもたちには、今の学年のうちにできること、やるべきことはやり切って卒業・進級してほしいと思っています。勉強でも、人間関係でも、やり残したこと、うやむやにしたことは、あとで必ずつけが回ってくるような気がします。(自分自身の経験ですが・・・) 「もうだめだ」「そんなの無理」「まあ、いいや!」は禁句にして、《寒い時期…、まとめの3学期…》というイメージをぶっ飛ばして元気に3月まで頑張り切りたいと思います。授業研究会、もちつき・感謝の会、縄跳び、卒業を祝う会、卒業式と3学期も盛りだくさん。…3学期は、「たった2ヶ月」ではなく、「まだ2ヶ月もある」のです。限界を突破したところに、きっと、次のステージが開けます。

■お正月に・・・

年末年始は、テレビも新聞も特番だらけ。再放送の「ぎぼむす」も「99.9」も見つつ、じっくりと新聞や積んであった本を読むこともいくらかはできました。

気になった内容の一つは「デジタル的思考」というもの。世の中全体に「0」か「1」かという風潮になっていないかということです。コンピュータの言語は、ひたすら「0」と「1」の繰り返しで、その例えから「デジタル的思考」と呼ぶらしいです。「イエスかノーか」「賛成か反対か」「民主党か共和党か」「親中派か民主派か」…すべてのことを「オールオア ナッシング」で判断することが、人々を攻撃的、排他的にしているのではないかという論調でした。

もう一つは、新聞記事の言葉です。「植物は、自分が必要とする以上に葉を作って光合成をし、その落ち葉で微生物が増え、葉や木の実を食べて虫や鳥は命をつなぐ。もし植物が自己の必要量しか光合成をしなかったら、他の生物は存在できません・・・。」この言葉も、世の中が利己的になってきていることに対して、植物でも利他的な関係があるのだから、人間だって、もっと利他的になれるはずだと訴えるものでした。

確かに、トランプさんの掲げる「アメリカファースト」、イギリスのEU離脱やドイツの移民排斥問題、日韓関係など、世界が排他的・攻撃的になってきているように感じることもあります。だからこそ、ラグビーワールドカップで見せられたノーサイドや自己犠牲の精神が、より崇高に感じられたのかもしれない。

「ぎぼむす」の綾瀬はるかも、「99.9」の松潤も、情に厚い主人公でした。世の中には「0」と「1」の間に「0.5」も「0.8」もあります。「自分さえよければ…」という利己主義に未来は開けません。始業式では、「とよとみしぐさ」を見直したいという言葉も聞かれました。相手を意識し思いやる心を育てたいと思いました。

■チェーンソーアートお披露目

12月18日、岡崎森林組合で早川武子さんが見せてくれたチェーンソーアートの作品が学校に届き、始業式でお披露目しました。フクロウ（梟 福朗 不苦労）の下に「とよとみ小」と彫ってあります。宮崎林道協議会が開いた「子ども自然体験教室」で、昨年度の宮崎小に続き、今回は豊富小に寄贈していただきました。児童昇降口に設置しましたので、ご来校の際にご覧ください。



■書き初め大会

始業式の後には、書き初め大会を行いました。どの学年も集中して取り組み、作品を仕上げていました。各学級金賞を2名、銀賞を学級数の2割、審査で選びました。金賞作品は、1月18日（土）

19日（日）の第63回岡崎市小中学校書き初め展（岡崎市美術館）に出品されます。また、子どもたちの作品は2月のフリー参観で展示します。少し先になりますがご覧ください。



校内書き初め大会金賞おめでとう！

1年赤組

1年白組

2年

3年

4年

5年

6年

ひまわり

配付用には
児童名が入っています。

■校長室の絵を交換しました

これまで展示してきた子どもの作品を次の4作品に入れ替えました。令和2年度の絵を描く会の作品が完成するまで、来校されるお客さんに見ていただきます。約半年の間、絵を貸してもらいます。

1赤

1白

5年

ひまわり

い
ま
す。
童
名
が
入
っ
て
配
付
用
に
は
児
童
名
が
入
っ
て
い
ま
す。

「スイミー」

「かわいくおどるきつねたち」

「豊富小学校の校舎」

「マカロンだいすき」



冬本番。これから2月の始めまで、1年で一番寒い時期を迎えます。寒いのですが、まわりの木々が葉っぱを落としているので、冬の鳥たちがよく見えます。ギャーギャーとうるさく鳴くヒヨドリ。目のまわりが白いその名もメジロ。昔はよく食べたらしいツグミ。一番小さいキツツキの仲間コゲラ。きれいな声で鳴くのは、太くて短いくちばしのイカル。人なつっこいやマガラ。黒いネクタイをはめたようなシジュウカラ。今日は、駐車場のすぐ横の校訓碑の所でウグイス。「ホーホケキョ」とは鳴かず、「チッチッチ」という地味な鳴き声でした。運動場ではハクセキレイによく会います。この冬、学校で出会った野鳥です。あ、スズメとカラスもね。